

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ささえ	笠嶋 信夫	中心となるデイサービスは、一人一人の状態に合わせた柔軟なサービス提供しています。 突然の宿泊にも対応、訪問サービスでは通いの場のなじみの関係ができているスタッフが自宅へ訪問いたします。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 ささえ	齋藤 かつ子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	13人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	勉強会を継続して行う。 研修やイベントへの参加に努める	・前年度より外部研修に参加している。 職員会議を通して職員に情報共有している。日頃の業務に反映までは至っていない。	職員一人一人まだまだ意識が足りないのではないかと。意識をもって達成しようとする意識が必要である。	外部研修に積極的に参加でき、職員会議などで職員に情報共有していきスキルアップに努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	より動きやすい環境を整える。	フロアの環境整備に努める。	職員の対応次第でも環境は変わると思う。一人一人が意識していくともっと良い環境になるのでは。	外部・内部研修を通して、職員に言葉遣いなどの接遇面や認知症の対応など研修をして環境づくりに繋げていく。利用者様にとって過ごしやすい環境とは何かを考えて日々の業務につなげる。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方が気軽に来てくれるような事業所を目指す。	地域の盆踊りの参加 児童会館の子ども達との交流 ボランティアの方に来てもらい、演奏していただく。	地域交流がまだまだ少ないのでは。もっとイベントに参加したい。	地域の方々が立ち寄れるような事業所を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外出イベントを質・量ともに増やす。	とんでん・トリトンに行き食事会を開催。	外出するのは、生活の意欲向上となっていていいのでは。職員と一緒に買い物行くなど工夫してはどうだ。	・買い物など利用者様と一緒にいくなど工夫して外出の機会を増やしていく。 ・外出イベントを事前に計画してできるだけ多くの利用者様が参加できるようにしていく。 ・外出行事の質・量の向上に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	議事録の回覧 全体会議で報告。	運営推進会議を通して意見などを頂き、検討・実施に努めた。	職員も参加して地域の方々の意見や実際の現場の状態など直接話すことで周知につながるのでは。	運営推進会議に職員が参加できるようにシフト調整など行い、地域の方々や包括支援センターの方と職員が直接意見交換できるような運営推進会議を目指していく。

F. 事業所の 防災・災害対策	冬期間は動きづらいので5月、 11月に避難訓練を実施。	運営推進会議に合わせて避難訓練を 実施。	災害時の避難に関して火災だけ ではなく水害時に行った方がい いのでは。	・水害時の訓練も計画し避難訓練に浸 水を想定した訓練を実施。 防災時のマニュアルをもう一度見直 して作成。職員に職員会議など通 して周知させる。
--------------------	--------------------------------	-------------------------	---	--

